

お執筆者たち、推しのISHIKARI!

市民の皆さんに“これだけは知っておいてほしい”石狩のこととは?!

6人の執筆者たちが語る、とっておきのISHIKARI推し情報です♪

志賀 健司

こいしかりわん
古石狩湾



花川や生振など市南部の平地では、地下からクジラの骨が出てくることがあります。実は今から6千年前、その二帯は古石狩湾と呼ばれる海だったのです。

この町はどうして低い、平らな土地が広がっているのか。地形にも全て、理由があります。それを意識してまわりを見直してみれば、町の隠れた素顔が見えてきますよ。(第11回「石狩をおおっていた海——古石狩湾」参照)

専門は地質学・漂着物理学・海辺学。地球の環境の変遷などを調べるとともに、石狩の浜辺にどんなものが漂着し、それが持つ意味を研究しています。

工藤 義衛

石狩観光のはじまり



石狩の鮭漁は大量に獲れること、アイヌが従事する地引網漁というエキゾチックなイメージが江戸時代から関心呼び、明治から地引網漁が行われなくなる昭和40年代まで観光資源となっていました。全国に知られる石狩鍋は、戦後も続いた鮭地引網観光ブームによつて全国に広まっていったのです。(第92回「石狩観光のはじまり」参照)

専門分野は考古学と風俗史。石狩独特の文化を研究する一環で石狩の食を代表する「石狩鍋」の歴史やルーツについても調査しています。

石橋 孝夫

浜益区の象徴
黄金山



黄金山は古くから浜益アイヌが人々を守ってくれる神聖な存在として大切にしてきた山です。また、「こがねやま」の名はすでに18世紀末から松前や本州に知られていました。そして明治になると「ふるさとの山」として「浜益富士」の別名もつけられました。(第101回「黄金山ピンネタイオルシペ」参照)

専門分野は考古学と石狩史。石狩紅葉山49号遺跡の発掘を手がけたほか、縄文時代から江戸時代に至るサケ漁の方法や文化について研究しています。

内藤(前野)華子

大都市近郊に残る自然海岸



石狩海岸は、ハマナスやハマボウフウなどの海浜植物群落、エゾスカシユリなどの草原性植物が彩る海岸草原、大規模なカシワの天然生海岸林、そこに暮らす多様な生物相など、全国的にも数少なくなつてしまった海浜の自然が見られる場所です。

25年前の執筆時から変化した部分もありますが、保全によつて守られ、今なお生物多様性に富んだ海浜生態系が残る場所です。(第18回「大都市近郊に残る自然海岸」参照)

専門分野は植物生態学。石狩浜の生態系保全のための植生調査や植生管理、ハマナスの保全再生に関わる活動などに携わっています。

荒山 千恵

石狩紅葉山
49号遺跡



この遺跡では、紅葉山砂丘の麓を流れていた川を利用した縄文中期の人々の暮らしの跡が見つかりました。とくに川の跡からは、サケを捕獲するための杭列や柵、タモ、魚たたき棒、櫂、たいまつなど、約4千年前の希少な木製品が数多く出土しました。当時の道具から、石狩のサケ漁のルーツがみえてきます。(第142回「市指定文化財 石狩紅葉山49号遺跡出土の木製品」参照)

専門は考古学。市内の遺跡や出土品の調査を中心に、地域の歴史・文化にかかわるモノ・コトについて研究しています。

坂本 恵衣

サメ様



石狩市には「サメ様」と呼ばれる神様が祭られています。宝珠山金龍寺の妙法亀善神と、石狩辨天社の妙法亀善大明神です。このサメはいわゆる海の鮫ではなくチヨウザメで、古くから石狩川の主として祭られていたようです。サメ様はいずれも鮭漁の神として石狩の漁業者からあつく信仰されてきました。(第15回「二つの鮫様」参照)

専門は文化人類学。地域信仰について調べるとともに、石狩の人々の生活の中で宗教がどのように考えられていたのか、歴史の変遷などを研究しています。

災害への備えを学ぶ

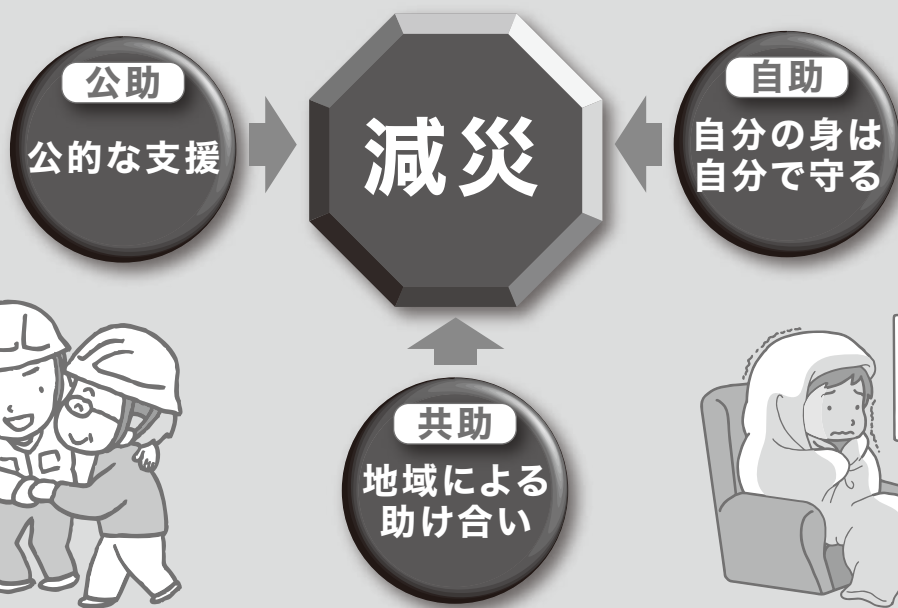
「防災」から「減災」へ

昨年1月の能登半島地震や、昨年9月の能登半島豪雨にもみられるように、災害はいつ起こるか分かりません。さらに近年の異常気象の影響で、災害は頻発化・激甚化しています。

そのため「災害は必ず起こる」と考え、被害を最小限に抑える「減災」という考え方が大切です。

しかし、減災の実現には市の取り組みだけでなく、市民の皆さん一人一人の取り組みが欠かせません。

市では、市民の皆さんに災害について考えてもらうため、町内会を対象とした避難所運営訓練や、まちづくり出前講座を実施しています。また、(一財)石狩市防災まちづくり協会では、自主防災組織訓練や各種講習を行っています。ぜひ、皆さんも積極的に地域の防災訓練などに参加しましょう。



花川南小・中学校の一日防災学校

内容 地域が一体となって学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」の活動として、令和5年から防災をテーマに花川南小・中学校が合同で一日防災学校を実施しています。小学校から中学校までの9年間にわたってさまざまな防災学習に取り組み、子どもたちが地域の防災活動に関わっていける力を育てます。

日時 15(土)8時～11時30分

場所 花川南小学校(花川南6・5)
花川南中学校(花川南9・4)

問 花川南小学校 ☎73・1924
花川南中学校 ☎73・6104



▲申込フォームで地域住民の皆さんの参観申し込みを受け付けています。

